

なかお

第43号

社協だより

みんなが安心して暮らせる支え合いの
まちづくり

発行者 中尾校区
社会福祉協議会
発行責任者 金田 裕美子
事務局 中尾市民センター内
(TEL 612-3881)
編集 広報部



どうする 福祉のまちづくり

中尾校区社会福祉協議会 会長 金田 裕美子

平素から中尾校区社会福祉協議会の事業にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

今年度も、コロナウイルス感染症で、事業（三世代ウォーキングなど）を中止しました。しかし、全体での交流会は実施できませんでしたが、サロン活動、各班では感染対策をするなど工夫をして活動を進めていただきました。

また、中尾校区社協では、住みやすい福祉のまちづくりを継続していくにはどうしたらいいのかということ、5年先を見据えた活動を始めるために、中尾社協を中心に策定委員会を立ち上げ、定期的にワークショップを行い、一人ひとりの意見を大事にして、しっかりと話し合いを行いました。今までの活動の良いところや課題など、たくさん意見ができました。その結果、重点実施項目を「ふれあいネットワーク活動の再構築」「次世代の地域福祉活動の担い手の育成と発掘」に設定し計画書を編集し、令和5年度からスタートします。

第1回の（1月27日）行方不明高齢者搜索模擬訓練では、まず、認知症について学び、第2回（3月4日）では、行方不明になった認知症の方への対応を疑似体験するなどの研修を行いました。体験する中で言葉のキャッチボールができるかどうかなど、対応のアイデア、ヒントを多く学ぶことができました。また、全国的に、不登校の子どもが増えている中、地域ではどんな支援ができるのだろうか。親にはどのようにに寄り添ったらいのかなどを学習しました。

来年度は福祉活動計画の一年目です。学びの大切さを活かし、福祉協力員の交流など、より楽しく活動ができるように研修を行い、ボランティア活動を体験してみたい方の発掘にも力を入れ、地域福祉の推進に努めて参りたいと思っております。